

令和7年度11月補正予算 (その3)

主 な 事 業 概 要

商 工 観 光 労 働 部

事業名	補正予算額 (補正前の額)	説明
【商工政策課】 中小企業支援事業 普及費	2,449,064 (1,812,363) 国 2,449,064	<p>1 滋賀県未来投資支援事業 2,327,000</p> <p>物価高騰の中、持続的な賃上げを実現できるよう、未来を見据えて生産性向上、新事業展開、人材育成などに意欲的に取り組む県内中小企業等を支援する。</p> <p>1,705,805 → 4,032,805</p> <p>重点支援地方交付金を活用した賃上げ環境整備のための増額</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>賃上げ率算定対象の従業員数</p> <p>1～5名 補助率：2/3 上限 50万円 下限 15万円</p> <p>6～20名 補助率：1/2 上限 200万円 下限 15万円</p> <p>21名以上 補助率：1/2 上限 500万円 下限 15万円</p> <p>補助対象：従業員を1名以上雇用し、従業員の賃上げを3.5%以上行う県内中小企業等</p> </div> <p>2 特別高圧電力料金負担軽減支援事業 122,064</p> <p>特別高圧電力を利用する県内の中小企業等を支援し、エネルギー価格高騰に伴う負担の軽減を図る。</p> <p>106,558 → 228,622</p> <p>重点支援地方交付金を活用した価格高騰対策による増額</p>
【産業立地課】 工業基盤強化推進事業費	68,911 (65,376) 国 68,911	<p>1 原油価格・物価高騰対策事業（企業庁） 68,911</p> <p>企業庁が行う工業用水道事業に対する動力費および薬品費に係る令和3年度からのかかり増し経費分の支援を行い、物価高騰の負担増加を軽減する。</p> <p>0 → 68,911</p> <p>重点支援地方交付金を活用した価格高騰対策による増額</p>

事業名	補正予算額 (補正前の額)	説明
【イノベーション推進課】		
滋賀の新しい産業 づくり推進事業費	90,000 (605,241)	<p>1 中小企業×スタートアップ共創チャレンジ事業 30,000</p> <p>県内中小企業とスタートアップとの新たな共創関係を伴走支援により構築し、既存事業の課題解決や革新的な新規事業の創出を推進するとともに、共創の成功事例とノウハウを蓄積し、効果的に横展開することで、県内におけるオープンイノベーションの加速と中小企業の稼ぐ力の一層の強化を図る。</p> <p>0 → 30,000</p> <p>重点支援地方交付金を活用した新事業創出の促進のための増額</p> <p>2 ものづくりA Iパイロット事業 60,000</p> <p>A I導入によって飛躍的な生産性向上と付加価値向上を実現しようとする企業のモデル的な取組を伴走支援し、成功事例と具体的なノウハウを効果的に横展開することで、県内企業のA I活用拡大と競争力強化を図る。</p> <p>0 → 60,000</p> <p>重点支援地方交付金を活用した生産性の向上のための増額</p>
地場産業総合振興 対策費	52,000 (78,350)	<p>1 伝統的工芸品購入層拡大重点事業 52,000</p> <p>全国の複数会場で、ターゲット層に応じた新たな魅力発信に挑戦する展示販売会を開催し、県内伝統的工芸品等の売上につながる購入層や販路の拡大を図る。</p> <p>0 → 52,000</p> <p>重点支援地方交付金を活用した伝統的工芸品等事業者支援のための増額</p>

事業名	補正予算額 (補正前の額)	説明
【労働雇用政策課】		
仕事と家庭両立支援 促進費	59,600 (27,085)	1 滋賀県業務改善・賃上げ支援事業 59,600 最低賃金の引上げに向けた賃上げ環境を整備するため、生産性の 向上と最低賃金の引上げを目指す県内中小企業等に対し、国の「業 務改善助成金」に上乗せして支援する。
	国 59,600	0 → 59,600 重点支援地方交付金を活用した賃上げ環境整備のための増額 〔 補助率：1／2 補助対象：県内中小企業等 〕
【観光振興局】		
観光振興推進費	449,601 (664,810)	1 観光誘客臨時対策事業 212,500 観光需要の喚起や県内周遊の促進により、観光消費の拡大を図る ため、地域と連携した観光特別企画の実施や旅行事業者の旅行商品 等の造成を支援する。
	国 449,601	〔 観光誘客臨時対策事業費補助金 212,500 補助率：定額 補助対象：公益社団法人びわこビジターズビューロー 〕 (1) 魅力ある観光まちづくり・誘客臨時対策事業 118,000 県内周遊を促進するため、地域と連携した夜型観光等を活用 した観光特別企画を実施するとともに、県内旅行事業者等の観 光バスツアーの造成を支援する。 0 → 118,000 重点支援地方交付金を活用した観光事業者支援による増額

事業名	補正予算額 (補正前の額)	説明
		<p>(2) インバウンド誘客臨時対策事業 94,500</p> <p>インバウンド誘客を促進するため、「そこ滋賀」を通じた県内観光施設等への周遊促進を図るとともに、旅行事業者の本県への旅行商品の造成を支援する。</p> <p>0 → 94,500</p> <p>重点支援地方交付金を活用した観光事業者支援による増額</p> <p>2 観光コンテンツ創出臨時対策事業 57,500</p> <p>物価高騰の影響を受けている観光事業者の収益強化につながるよう、デスティネーションキャンペーンの好機を捉えた観光コンテンツの創出を促進する。</p> <p>0 → 57,500</p> <p>重点支援地方交付金を活用した観光事業者支援による増額</p> <p> { 観光コンテンツ創出臨時対策事業費補助金 57,500 補助率：定額 補助対象：滋賀県シガリズム・デスティネーション キャンペーン推進協議会 } </p>

単位：千円

事業名	補正予算額 (補正前の額)	説明
		<p>3 近江の地酒緊急支援事業 179,601</p> <p>酒米価格の急激な高騰に伴う県内の酒蔵の事業継続のための臨時的な負担軽減として、酒米購入費の一部を支援するとともに、酒蔵が独自に行う販売促進の支援や酒蔵と連携した周遊企画の実施を通じた近江の地酒の需要促進を図る。</p> <p>0 → 179,601</p> <p>重点支援地方交付金を活用した価格高騰対策による増額</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>①近江の地酒緊急支援事業費補助金 169,601</p> <p>補助率：定額</p> <p>補助対象：滋賀県酒造組合</p> <p>②近江の地酒活性化事業費補助金 10,000</p> <p>補助率：定額</p> <p>補助対象：公益社団法人びわこビジターズビューロー</p> </div>

滋賀県未来投資支援事業（第3弾）

11月補正予算額：2,327,000千円

目的

物価高騰の中、持続的な賃上げの実現につながるよう、未来を見据えて生産性向上、新事業展開、人材育成などに意欲的に取り組む県内中小企業等を支援する。

概要

県内中小企業等が行う付加価値額増加のための取組にかかる経費の一部を補助する。

○補助対象事業

①生産性向上

（例）高効率装置への更新・生産管理ソフトの導入による業務能率向上



②新事業展開

（例）新商品開発のための試作品製作、新事業立ち上げのECサイト構築

③人材育成

（例）従業員のリスキリングや資格取得のための教育訓練の受講、外部専門家への謝金



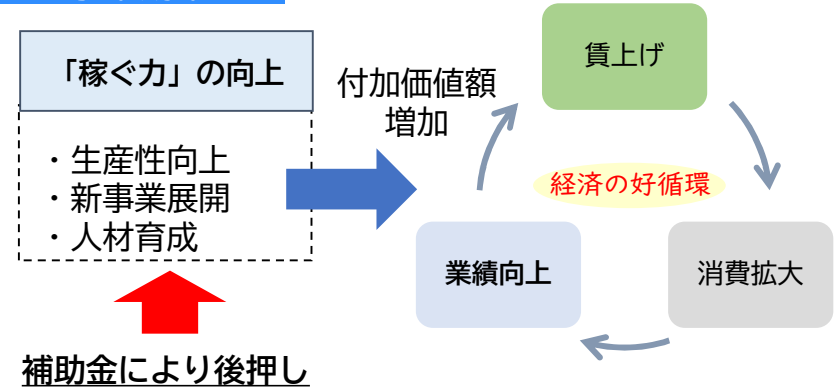
○補助率・補助限度額

	賃上げ率算定対象 の従業員1～5名	賃上げ率算定対象 の従業員6～20名	賃上げ率算定対象の 従業員21名以上
補助上限額	50万円	200万円	500万円
補助下限額	15万円		
補助率	3分の2	2分の1	

○補助対象事業者

従業員を1名以上雇用し、従業員の賃上げを3.5%以上行う県内中小企業等（R8.1.1～事業終了までに賃上げを実施）

事業効果



第2弾との変更点

- ・従業員を1名以上雇用し、従業員の賃上げを3.5%以上行うことを要件化（通常枠の廃止）
- ・事業者規模に応じた補助上限額に見直し
- ・申請機会の確保のため、申請期間を2回設定（R8.3月と6月の募集開始で調整中）

【参考】第1弾・第2弾実績

- ・補助件数：第1弾：2,218件 第2弾：1,768件
- ・補助金額：第1弾：約10.3億円 第2弾：約15.5億円

※ 第2弾は交付決定ベース

※ 製造業、農業、建設業等幅広い業種・分野から申請あり。

特別高圧電力料金負担軽減支援事業

11月補正予算額：122,064千円

目的

特別高圧電力を利用する県内の中小企業等を支援し、エネルギー価格高騰に伴う負担の軽減を図る。

概要

対象事業者からの申請に基づき、対象期間内に使用された電力量に応じ、支援金を給付する。

●対象事業者：特別高圧電力を受電している県内の中小企業等

- ・大量の電力を使用する大規模な工場等（＝直接受電事業者）【想定：30者】
- ・特別高圧電力を一括受電している商業施設等に入居するテナント等（＝間接受電事業者）【想定：170者】

●対象期間：令和8年1月分～3月分

●支援単価	1月・2月	… 1 kWhあたり2.3円
	3月	… 1 kWhあたり0.8円

対象期間・支援単価は、
国の総合経済対策の
電気料金支援（高圧電力）と同じ

（参考）今後のスケジュール（予定）

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・令和8年2月中旬頃 | …対象事業者への周知開始 |
| ・令和8年4月中旬～6月上旬頃 | …申請受付 |
| ・令和8年5月上旬～6月下旬頃 | …給付 |

原油価格・物価高騰対策事業（企業庁）

11月補正額:68,911千円

目的

工業用水道事業を行う企業庁に対し、物価上昇分相当額を支援することで、工業用水を利用する事業者の負担増加を軽減する。

概要

令和5、6年度に引き続き、企業庁における工業用水道事業に対する動力費および薬品費の令和3年度からのかかり増し経費分の支援

○補助対象事業者

企業庁（工業用水道事業）

○補助対象経費

（令和7年度単価－令和3年度単価）×令和7年度使用量実績

動力費（彦根）4.2円／Kwh（南部）7.4円／Kwh

薬品費（南部）19.9円／kg

○予算額

・動力費	63,851千円	
・薬品費	5,060千円	計 68,911千円

○その他

・水道用水供給事業（健康医療福祉部生活衛生課）、流域下水道事業（琵琶湖環境部下水道課）においても物価上昇分相当額に対する支援を実施

中小企業×スタートアップ 共創チャレンジ事業

11月補正予算額:30,000千円

目的

高度なコア技術で本県をけん引する**中小企業**と、独自の技術とアイデアにより急成長を遂げる**スタートアップ**との**マッチング**の機会を通じ、従来にない新たな発想による**共創**によって**県内中小企業の競争力の強化と持続的な成長**を目指す。

背景

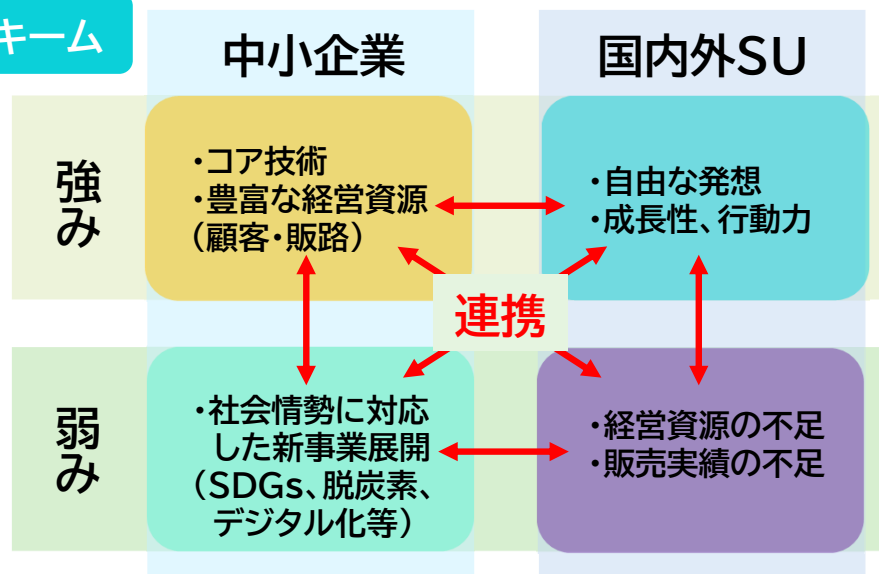
- ・本県経済の持続的な成長の実現には、中小企業の新事業創出・競争力の高い製品開発が必要不可欠
- ・県内中小企業は厳しい環境のなか、新たな新商品・新技術開発への挑戦意欲は旺盛
- ・スタートアップは革新的なアイデアや行動力を持つことから、共創により中小企業が大きく飛躍する可能性

事業内容

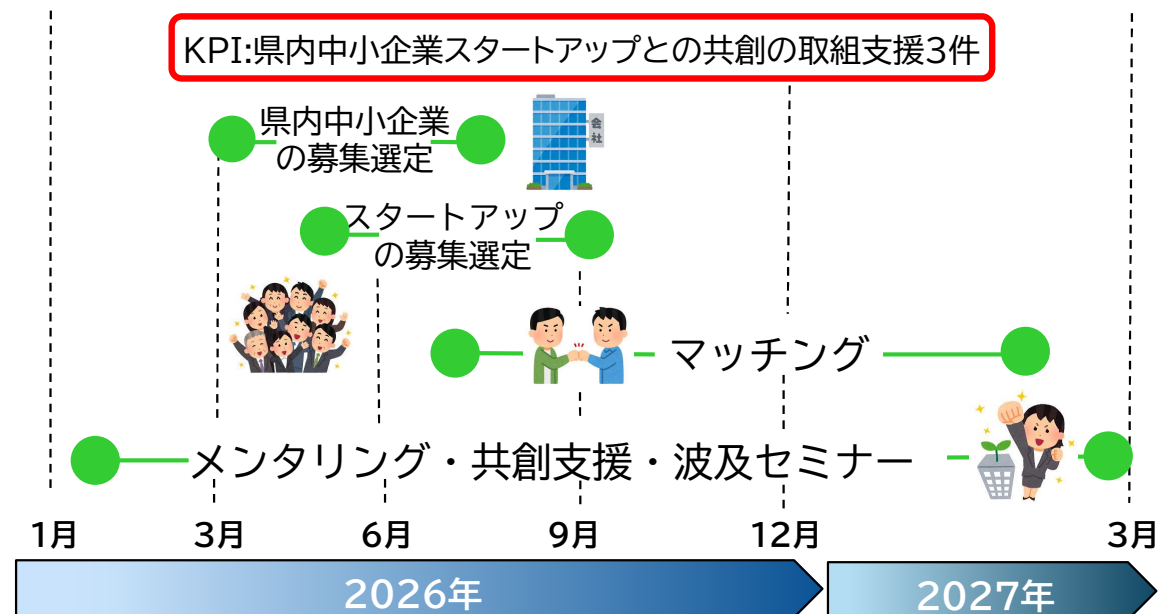
委託事業（30,000千円）により以下の伴走支援を実施

- ・コア技術を有し、既存事業の高度化や新規事業の創出を目指す県内中小企業を選定（3件）
- ・課題解決に資するスタートアップを全国から選定、中小企業とのマッチングを実施、共創関係構築
- ・共創の成果やノウハウをセミナー等により発信、更なる共創を生み出し、中小企業の「稼ぐ力」の強化

スキーム



KPI:県内中小企業スタートアップとの共創の取組支援3件



ものづくりAIパイロット事業

11月補正予算額:60,000千円

目的

本事業は県内中小製造業を対象に、物価高騰等への対応として、生産現場等へのモデル的なAI導入を支援し、生産性の向上と付加価値の創出を図る。また、セミナー等で横展開し、省力化投資の促進、競争力の強化、中小企業の「稼ぐ力」の向上につなげる。

事業内容

委託事業（60,000千円）により以下の伴走支援を実施

○AIによる生産性、付加価値の向上に挑戦する県内中小製造業を選定（5件）

○AIの小規模試行から事業化計画策定まで一体的に支援し、先駆事例の成果を共有して中小企業への波及を促進

現状課題



収益(利益率)が低下...

物価高騰

人件費増加

利益圧迫

生産性向上が必要 / 人手不足

業務効率化やAIの導入といったビジネスモデル変革が必要

AIの導入、生産性、ビジネスモデル変革による収益(利益率)の改善が必要だが。。。

- ・システム選定手法等のノウハウ不足
- ・導入のコストメリットの実感不足

本事業の内容

- ・委託事業者による伴走支援
- ・小規模試行によるコストメリットの体感
- ・事業化計画の策定

企業の自立的なAI活用を促進

STEP4
成果共有・県内波及

STEP3
事業計画策定

STEP2
小規模導入・効果検証

STEP1
小規模導入計画策定

1月

6月

12月

3月

2026

2027

KPI:

県内中小製造業のAIの小規模導入への取組支援5件

目指す姿



収益の向上
生産性向上

AIの導入
ビジネスモデル
変革

業務効率化
人件費削減
売上高up
販路拡大

AIの導入による効果の実感

- ・AI化するとコスト削減
- ・ビジネスモデル変革をすると売上増強

県内中小企業の収益力を増強

伝統的工芸品購入層拡大重点事業

11月補正予算額:52,000千円

【目的】

全国の複数箇所でターゲット層に合わせた展示販売会を行い、地場産業・伝統的工芸品の新たな購入層拡大や販路拡大を目指す

【概要】

〈内容〉

- 全国での展示販売会の実施(計5か所程度)
- 展示販売会での来場者の分析・アンケート調査(データ収集)
- ECサイトへの誘導

〈出展対象〉

地場産業事業者(9産地)
伝統的工芸品事業者(40品目46製造事業者)

〈出展内容〉

地場産業・伝統的工芸品の販売、展示、ワークショップ、実演など

〈出展場所〉

様々な購入層の来客や集客が見込まれる場所
例) 駅に隣接する商業施設の貸スペース、空港内のショップ内など

〈スケジュール〉

令和8年1月～ 委託事業者選定(公募型プロポーザル方式予定)
4月～ 委託開始
展示販売会開始

〈事業費内訳〉

委託料51,500千円/旅費500千円



【効果】

- 購入層拡大に直接的につなげ、将来の販路開拓などの糸口とすることで、自立的かつ持続的に「稼げる力」を作り出すことができる
- 購入後のフォローアップを行うことで、地場産業・伝統的工芸品のファンなどの関係人口の創出のきっかけを生み出すことができる
- 滋賀県に訪れ、伝統的工芸品等の製造現場の見学・体験を行うなど直接触れ合うきっかけにつながる

【KPI】

- 事業全体の売上 20,000千円
- 購入者アンケート調査により
地場産業・伝統的工芸品のECサイト
につながった数 5,000人



来場者分析
アンケート調査
ECサイトへの誘導



滋賀県業務改善・賃上げ支援事業

11月補正予算額:59,600千円

①目的

最低賃金の引上げに向けた賃上げ環境を整備するため、生産性の向上と最低賃金の引上げを目指す県内中小企業等に対し、国の「業務改善助成金」に上乗せして支援する。

②概要

事業場規模30人未満の事業者を対象に、業務改善助成金の上乗せ支援を行う。

○補助対象事業者

- ①滋賀県内に事業場があること
- ②事業場規模30人未満の事業者
- ③業務改善助成金の交付額確定の通知を受けている事業者

○補助率

業務改善助成金の自己負担分の2分の1

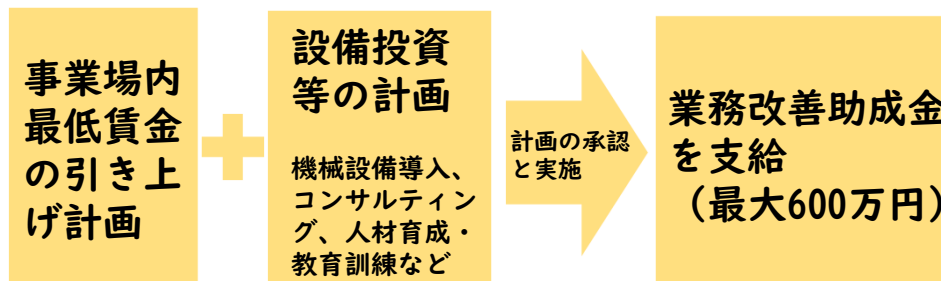
○補助上限額

100万円（引上げ額および引き上げる労働者数による）

③業務改善助成金とは

【助成率】事業場内最低賃金
1,000円以上で4分の3

業務改善助成金は、生産性向上に資する設備投資等を行うとともに、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部を助成するもの。



④補助金額のイメージ

国補助対象経費（160万円）		
国・業務改善助成金 120万円	自己負担分 40万円	
	県補助 20万円	自己負担 20万円

○国補助対象経費が160万円の場合
（助成率4分の3の場合）

補助金額：20万円

長期化する物価高に加え、本県の観光入込客数が回復途上であり、観光関連産業は厳しい状況にあることから支援が必要となっている。そのため、観光需要の喚起や県内周遊の促進により、国内外からの来訪を増加させ、観光消費の拡大を図るため、地域と連携した観光特別企画の実施や旅行事業者の旅行商品等の造成を支援。

事業内容

(1) 魅力ある観光まちづくり・誘客臨時対策事業（予算額：118,000千円）

①地域連携特別観光事業

- ・「まちの魅力」を体感できる県内周遊を促進するとともに、観光消費を増やし地域経済の活性化につなげるため、地域と連携した夜型観光等を活用した観光特別企画の実施。

例：夜型観光での活性化（ドローンショー等）、滋賀グルメ提供の促進等の観光特別企画

②滋賀魅力体験ツアー支援事業

- ・観光キャンペーン「戦国ディスカバリー 滋賀・びわ湖」といった好機を生かし、県内周遊を促進するため、県内の旅行事業者等に滋賀の魅力を体験してもらえる観光バスツアーの造成の支援。

日帰りバス：2.5万円／台、宿泊バス：5万円／台、湖上観光追加助成：1,500円／人

(2) インバウンド誘客臨時対策事業（予算額94,500千円）

①「そこ滋賀」インバウンド誘客活性化事業

- ・「そこ滋賀」に訪れた外国人観光客を県内への来訪・周遊につなげるため、県内の観光施設等で使用ができるクーポンを発行するとともに、来訪者の属性や周遊等に関するデータ分析の実施。

クーポン額：2,500円／人

②インバウンド誘客活性化事業

- ・活発なインバウンド需要を本県への誘客に迅速につなげるため、外国人観光客の宿泊を伴う旅行を手配する旅行会社に対して助成を行うとともに、来訪者の属性や周遊等に関するデータ分析の実施。

助成額：2,500円／人泊、移動追加助成（バス、タクシー等）：2泊 7万円／3泊以上 10万円

(3) 補助対象：（公社）びわこビジターズビューロー

観光コンテンツ創出臨時対策事業

11月補正予算額:57,500千円

物価高騰の影響を受けている観光事業者の収益強化につながるよう、デスティネーションキャンペーン（DC）の好機を捉えた観光コンテンツの創出等を促進する。

シガリズム・DC推進協議会が取り組む事業への補助（定額）

【特別企画等創出支援事業】

物価高騰の影響を受けている観光事業者の収益強化を図るため、プレDC・DCを契機に観光コンテンツの創出等に取り組む観光事業者等に対して開発経費の一部を支援。

■補助対象事業者

県内に事業所が所在する中小企業、観光協会等

■補助率

1/2（上限額1,000千円）

■補助対象事業

観光コンテンツ新規創出等

プレDC・DCを契機とする観光コンテンツの新規創出・磨き上げ

・①～④のいずれかで観光消費拡大につながる取組

- ①宿泊につながるもの
（朝型・夜型コンテンツ、滞在型コンテンツ 等）
- ②近隣府県と連携して誘客を図るもの
（京都、北陸、中京エリア等との連動企画 等）
- ③二次交通と組み合わせて提供するもの
（船舶、自転車等を利用する周遊ツアー 等）
- ④その他重要なコンテンツとして県が特に認めるもの
（ヘルスツーリズム、ファクトリーツーリズム等）

お土産等の開発

特色あるお土産やご当地グルメの新規開発

・デザインの刷新等を含む

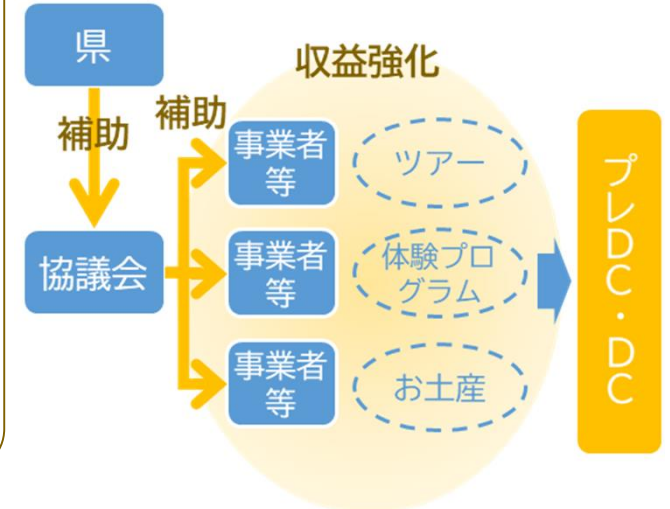


【積算】

特別企画等創出支援補助金	50,000千円
観光コンテンツ新規創出	1,000千円×40件
お土産等の開発	1,000千円×10件
補助事務運営 （募集、審査、給付等）	7,500千円

【スケジュール】

8.1月	2月	3月	4月	5月
要綱等準備	協議会への交付決定 プロポ公募	審査会・説明 周知・契約	申請受付	審査 採択案件決定 交付決定



酒米価格の急激な高騰に伴う県内の酒蔵の事業継続のための臨時的な負担軽減として、酒米購入費の一部を支援するとともに、酒蔵が独自に行う販売促進の支援や酒蔵と連携した周遊企画の実施を通じた近江の地酒の需要促進を図る。

事業内容

(1) 近江の地酒緊急支援事業費補助金 (補助対象: 滋賀県酒造組合 補助率: 定額)

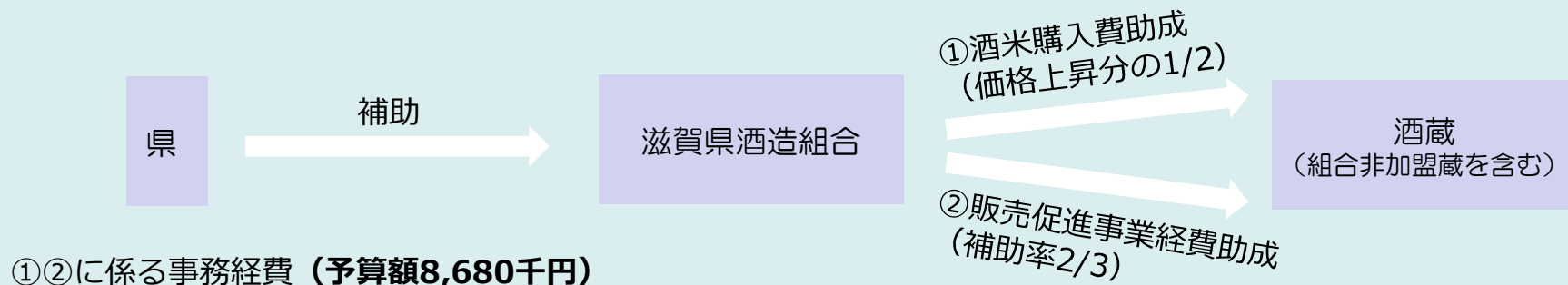
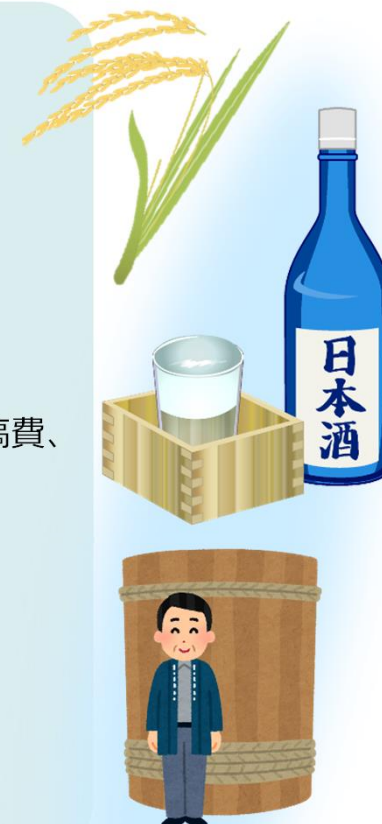
① 酒蔵に対する酒米価格高騰緊急支援事業 (予算額: 150,921千円)

- ・ 日本酒の原料米 (酒造好適米、加工用米、一般米) の対前年度 (令和6年度) からの価格上昇分の2分の1の助成。対象はG I「滋賀」の推進を図るため、県内産米とする。

補助条件: (2) 近江の地酒活性化事業 (酒蔵周遊企画) への参加

② 滋賀県産米需要促進支援事業 (予算額10,000千円)

- ・ 各蔵の滋賀県産米を活用した地酒の販売促進に係る事業経費 (例: 商談会経費、イベント出店経費、雑誌出稿費、DM広告費 等) に対する助成。



(2) 近江の地酒活性化事業費補助金 (補助対象: (公社)びわこビジターズビューロー 補助率: 定額)

近江の地酒活性化事業 (予算額10,000千円)

- ・ 滋賀県観光キャンペーン「戦国ディスカバリー 滋賀・びわ湖」の関連企画として、県内酒蔵と連携し、県内の地酒に焦点を当てた周遊企画の実施。

